

(1) 高知県沖繩三線愛好会の演奏について

@とても素敵な音色でした。声もすばらしい。いろんな所へ出向き演奏してください。三線から平和の音を広げましょう！

@楽しかったです。

@good！

@とても気持ちよく聞かせてもらいました。

@良かったです。

@大変良かった。心に響いた。

@新鮮な演奏、歌を聞かせてもらいました。

@楽しかったです。

@「沖繩を意識する」の位置づけ良かった。三線の音色もよかった。沖繩の方言は特に理解が困難(何をどう歌っているか、意味が…)。できれば歌詞と解説を書いたプリントが配られていたらもっとよく理解できたと思うが…。でもよかったです。これからもがんばって。

@沖繩への連帯の気持ちを込めて楽しく聴かせていただきました。

@良かった。

@良かったけどマイクが遠い方は残念、聞こえない部分がありました。踊り専門の方一人いれば…。

@すばらしい演奏で大変感動しました。

@なかなか良い。めったに聞けないから。

@とても良かったです。沖繩大好き、沖繩音楽大好きです。また聞きたいです。

(2) 講演「子どもと女性の貧困」について

@中島様ありがとうございます。憲法を守り、子どもを守り、誰もが人間らしく生きていくために、手をつなぎ、私たちの声を大きくし、政治を変えていきましょう。地域の崩壊とともに貧困も隠れてしまっています。地域の福祉を見直す時と思いました。

@子どもを包む社会づくり、心に残りました。

@調査結果を広く社会に知らせることが大切ですね。個々の問題解決も大切ですが、社会の意識を育てていくことが解決の糸口になると思います。

@どんな人も社会の中から弾き飛ばされない、一人ぼっちにならない、させない！ 東日本の震災の中での住民たちの支え合いを見るにつけ人間のあったかさ、強さを日々感じています。だからこそ、国民の力を信じて、国・政治がもっと国民を支える力を発揮するべきと思いました。

@今日の話は心にじっと沁みこむよい話でした。子どもを取り巻く大人、政府のあり方を変えていく必要を感じます。寂しさを感じている子が他国に比べて日本でこれほどまでに多いこと、またその背後にある日本政府の無策ぶりにショックを受けました。今日は大学4回生が卒論で「イギリスの孤児」の問題をテーマにしているので「孤児」に対する日英の実態と対策の違いなどを知って4回生の指導に役立てたいという思いで参加しました。日本の子どもの「寂しさ」という言葉を聞いた時、後藤正治「清冽」(茨木のり子の詩と生涯について書かれたもの)に紹介されていた金子光晴の“にほんじんのさびしさ”について書かれた詩を思い出しました。カオリーさんも是非読んでください。「先進国

における子どもの幸せ(指標)」としてあげられている「国の状態を示す本物の目安とはその子どもたちに対してどれほどの関心を払っているかである」はその通りだと思います。特に“人間とは開花する潜在的可能性を持った人間としての関心”という点が大事だと思いました。

@基本的なことについて学習させていただきました。ありがとうございます。

@とてもよかった。

@大変良かった。友達を誘って来たらよかった。一人でも多くの方にこのような話を聞いてもらいたい。社会が豊かになることが自分の子どもや孫が安心して生きられることだと思う。

@ジェンダーと性的役割分担論についても少し触れてほしかった。スライドには憲法 24 条も入れるべき。

@子どもと女性の貧困について基本的な方向と見方についてコンパクトに話していただき良く判りました。ただ高知県における実態と課題をはっきりさせてほしかったように思います(46 位所得貧困県だけにその深刻さがあるはずです)。

@たくさんのことを学ばせてもらい良かったです。今後もたくさんのことを教えていただけたと思います。「話し方」としては少し「一本調子」的な感じがしました。間の置き方、高低、強弱等も配慮した話し方をしてもらえると、「感覚的にも」強い印象が残ると思います。これからもよろしく願いします。

@良いメッセージ、報告でした。これからは生かしたいです。

@女性と子どもの貧困問題については関心があったためインターネットの資料等で自分なりに調べたりはしていましたが、講演で実際にお話を聞くのは初めてでした。女性の結婚・出産における選択肢の少なさか、自己責任の名の元の母親いじめには、ほとほとうんざりさせられます。そして声を上げる人たちの少なさにも。本日中島先生の講演は身に沁み入るようでした。資料を読むだけでなく、話を聞いたり自分の考えを話すことは大事だなとも思いました。母に教えられていっしょに参りましたが、来てとても良かったと思っています。ただ残念なのは 20 代、30 代の若い人が会場に見当たらなかったことです。現役世代はもっと自分の問題として向き合ってほしいですね。

@高知市出身、法テラス弁護士として大活躍の若い女性弁護士さん、頼もしく学ばせていただきました。子どもの貧困の現実を改めて知らされ、何とかして子どもの権利条約が日本で実行されるようにしなければと改めて考えさせられました。子どもの貧困を断つ施策(ドイツ)に、保育力について優れた見識が生かされていると思いました。

@もっと詳しく聞きたかった。講演の内容をもう少し丁寧にお話してほしかったです。

@女性と子どもの貧困問題・実態と憲法を結びつけて話され、解決の方向が考えられました。

@具体的な内容で非常に良かった(わかりやすい形でまとめられている)。親の貧困は社会の問題であること、そこに政治が関わることはやはり述べにくいことだろうか？またそこまで話題にすると話が広がりすぎる。しかし大事な問題ではある。

@良かったです。来ていろいろ考えさせられました。「誰も知らない」 見ていますが、自分でできることは…とまでは考えませんでした。「闇の子どもたち」という映画も貧困の問題、DV の問題を描いています。

@子どもの「貧困」から来る諸々の問題についていろいろと考えさせられることが多々あり、これからどうしなければならぬかという、これからの課題が重く感じられました。

@安保を廃棄し、真の独立しない限りますます心配なことが多くなると考える。

@とても良かったです。一人一人の私たちが身の回りを見つめ、困難にぶつかっている人たちに寄り添い、日本国憲法が生かされる日本にしていくことが大切と思います。

@good.

(3) 集会全体についての意見、感想、今発言したいこと

@貧困の連鎖を断ち切ること。保育から小中高の教員についても、最低 99 条の憲法遵守の義務を徹底してもらいたい。

@御近所に若いご夫婦がいます。とても忙しい生活です。お子さんは保育園に行っていますが、朝 7 時 30 分には家を出て保育園に行き、夜は早くても 7 時半に帰ってくる(お母さんの職場が朝 8 時から夜 6 時が定時とのこと、野市まで通っています)。生活の中でこのお子さんはどう育てていくだろうか心配です。社会が働く者の権利を守ることの大切さを感じます。

@マイクが少し太すぎる。ボリュームを少し控えたらよい。

@大変有意義な集会でした。日本の国民を守り、国を守るということは軍隊や戦闘でなく、今回の地震でもわかるとおりです。軍備の金は 1 円も出すわけにはいきません。

@新保育システム反対という発言をさせてもらいましたが、このチラシをこの封筒に入れさせてもらえなかったことが残念。反対署名をお願いすればよかった。失敗。でもまたお願いしたいです。

@フロア発言も様々な観点からの発言があり良かったです。

@集会の宣伝チラシに中島香織弁護士の紹介を入れたら良かったと思います。また例年のように「こうち九条の会・協賛」の表示を入れるべきであったと思います。日本国憲法を学び、広め、生かす。今後ますます重要と思います。ありがとうございました。

@“がんばろう”でしめくくったのはすこしどうか。もっと高知県の貧困の実態に即して実情を深める議論が欲しかった。

@大変良かった。

@本当に憲法が守られてその通りに弱い者が守られる社会になって欲しいです。まわりの子どもに眼を向けてみたいと思います。

@これからも魅力ある講演をお願いします。

@「働く者の権利が侵されている実態をどうしたら良いのか」(質問者)⇒「団結してみんなで変えていく努力を続けていく」(カオリーの答)

@30 歳代、40 歳代の独身者そして母子家庭、父子家庭も増える現状ですね。私の住む地域でも同じで後継者不足は深刻です。子どもの保育・教育は地域にすむ大人社会の問題です。問題を住民が共有していけるよう住民の声に傾聴していきたいと思います。

@社会は高齢化社会となってきております。私は夫の両親を 7 年、夫を 23 年間在宅で介護をしましたが自分の体は両親の介護で病気を患って毎月リハビリに通院するようになっております。夫の親は嫁が世話をするのが当たり前、夫は妻が世話をするのが当たり前、私の人生はどうだったかを今考えるようになりました。女性の立場の弱さが身にしみております。介護保険制度はないよりもある方がよいです。現状は在宅制度になっていますのでよりよい制度にするために輪を広げながら運動しなければと思っていますが、どのようにしたらよいかを教えてくださいたいと思います。

以上、23 人からアンケートをいただきました。